(専門分野)

<table>
<tr><td rowspan="2">授業
科目</td><td rowspan="2">運動機能に障害のある
成人の看護</td><td rowspan="2">講師</td><td rowspan="2">看護師</td><td>実務経験</td><td>単位数</td></tr>
<tr><td>○</td><td>1</td></tr>
<tr><td rowspan="6">学
習
目
標</td><td colspan="4" rowspan="6">1.運動機能障害をもつ成人とその家族への看護を理解する。
2.認知機能・コミュニケーション障害をもつ成人とその家族への看護を理解する。
3.感覚機能障害をもつ成人とその家族への看護を理解する。</td><td>時間数</td></tr>
<tr><td>30</td></tr>
<tr><td>学　年</td></tr>
<tr><td>2</td></tr>
<tr><td>時　期</td></tr>
<tr><td>第 1 学期</td></tr>
<tr><td>回数</td><td>主　　　題</td><td colspan="2">学　習　内　容</td><td>授業方法</td><td>講師</td></tr>
<tr><td>1</td><td>放射線療法を受ける患者の看護</td><td colspan="2">1.放射線療法とは
2.放射線が人体に及ぼす影響
3.放射線療法を受ける患者の看護</td><td>講義</td><td>看護師</td></tr>
<tr><td>2～4</td><td rowspan="2">運動機能障害を持つ患者の看護</td><td colspan="2">1.観察とアセスメント
1)疼痛　2)形態　3)関節運動
4)神経障害　5)歩行状態　6)筋肉の障害
2.症状に対する看護
1)疼痛・循環・神経障害
2)骨折がもたらす出血性ショック
3)運動器疾患と感染管理
3.検査を受ける患者の看護
1)関節可能域(ROM)
2)徒手筋力テスト(MMT)
3)骨髄造影、椎間板撮影　4)膝関節鏡
4.保存的療法を受ける患者の看護
1)ギプス固定　2)副子固定　3)牽引法
5.手術を受ける患者の看護
1)上肢の手術　2)脊椎・脊髄の手術
3)下肢の手術
(1) 人工関節置換法　(2)関節鏡下術
4)四肢切断術
6.症状マネージメントに向けた支援
(1)身体機能評価
(2)日常生活動作の評価
(3)基本肢位・良肢位と廃用症候群の予防
(4)セルフケアを支える道具の活用
(5)運動器リハビリテーション
(6)運動器疾患と保健・医療・福祉制度</td><td>講義</td><td rowspan="2">看護師</td></tr>
<tr><td>5</td><td colspan="2">1.運動機能障害を持つ患者の看護の実際
1)創傷処置と包帯法の実際
(1)ドレッシング材の保護　(2)包帯法
2)他動運動・自動運動</td><td>演習</td></tr>
<tr><td></td><td>認知･コミュニケーション障害をもつ患者の看護</td><td colspan="2">1.観察とアセスメント
1)意識レベル　2)高次脳機能
3)運動機能　　4)感覚機能
5)反射性運動　6)頭蓋内圧亢進症状
7)髄膜刺激症状</td><td></td><td></td></tr>
</table>

6～11		2.症状に対する看護 1)意識障害　2)言語障害　　3)認知症 4)運動麻痺　5)運動失調・不随運動 6)痙攣　　7)筋力低下　8)感覚障害 9)嚥下障害　　10)排尿障害 11)呼吸障害　　12)頭蓋内圧亢進 3.検査を受ける患者の看護 1)脳波　2)髄液検査　　3)脳血管造影 4.治療を受ける患者の看護 1)保存的療法 (1)薬物療法 ①抗血栓療法　②抗けいれん薬 ③パーキンソン病の薬 ④パルス療法 (2)血管内治療　(3)低体温療法 (3)リハビリテーション (4)化学療法・放射線療法 (5)血漿交換 2)手術療法 (1)開頭術　　(2)穿頭術 (3)血管バイパス術 (4)脳室ドレナージ術 (5)V－Pシャント術 5.症状マネージメントに向けた支援 1)クモ膜下出血患者　2)脳梗塞患者 3)頭部外傷　　　　　4)重症筋無力症 5)パーキンソン病　　6)髄膜炎	講義	看護師
12	感覚機能障害を持つ患者の看護	1.観察とアセスメント (1)眼振 2.症状に対する看護 (1)耳痛・耳漏　(2)耳鳴　(3)めまい (4)鼻閉　(5)鼻出血　(6)咽頭痛 3.検査を受ける患者の看護 (1)聴力検査　2)経鼻内視鏡検査 (3)眼底検査 4.手術療法を受ける患者の看護 (1)鼓室形成　(2)眼底光凝固療法 (3)網膜剥離　(4)白内障手術 (5)緑内障の手術	講義	看護師
13～14	機構が担う特徴ある運動器に障害のある患者の看護	1.重症心身障害者の看護 2.筋ジストロフィー症患者の看護	講義	看護師
15	評価	単位認定試験（45 分） まとめ		
評価方法	筆記試験　100 点	テキスト	系統看護学講座　基礎看護学[4]臨床看護総論 成人看護学[10]運動器 成人看護学[7]脳・神経 成人看護学[14]耳鼻咽喉 成人看護学[13]眼	